

ライブハウス CREA JAZZ

クリアホールからジャズの贈り物
ロビーミニライブ、ジャムセッション、公開ワークショップなど
楽しいプログラムでお待ちしています。



高橋知己 (Ts)

竹内直 (Ts)

畠山ゆき (P)

畠山令 (B)

石田博嗣 (Ds)



サウンドフリーク



ブルーエコース

- 12:00-13:00
【高橋知己&竹内直 ワークショップ】
(公開リハーサル)
見学料：500円
チケットお持ちの方は無料
- 13:30-14:15
【ロビーミニライブ】
出演：ミカサクインテット
入場無料
- 13:30-14:15
【セッション体験】
石田博嗣 (Ds) と
セッションしませんか?
楽器を持って遊びに来てください!
参加費：お一人 500円

プログラム ※プログラムは変更することがあります

- ♪ Mr. P.C.
- ♪ Naima
- ♪ A Love Supreme, Pt. II - Resolution
- ♪ Crescent
- ♪ I Want To Talk About You
- ♪ Soul Eyes
- ♪ Bye Bye Blackbird
- ♪ Softly, As In A Morning Sunrise
- ♪ 琵琶湖周航の歌
- ♪ Star Dust
- ♪ When You're Smiling
- ♪ Switch In Time
- ♪ It's Oh, So Nice
- ♪ Day By Day ほか

※要事前申込

2023年10月22日(日) 14時30分開演(14:00開場)

草津市立 草津クリアホール 草津市野路6丁目15番11号

《入場料》1,000円(当日1,500円) 《プレイガイド》●ローソンチケット <https://l-tile.com> (Lコード:55439)

●草津アートセンター(草津クリアホール内) 窓口9:00~17:00

主催：(公財)草津市コミュニティ事業団 後援：草津市、草津市教育委員会、えふえむ草津

チケット発売中

■ 問い合わせ / 草津アートセンター(クリアホール内) TEL.077-561-6100

Profile

高橋 知己 (Ts)

1950年8月12日北海道常呂町生まれ。
1972年11月"新宿PIT INN"に高橋知己Quartetとしてデビュー。70年代は自己のカルテットの他、古澤良治郎(ds)、向井滋春(tb)、森山威男(ds)、日野皓正(tp)、SMCオーケストラ等のグループで活動。'79年初リーダー作" TOMOKI"をリリース。その直後、第2作としてElvin Jones(ds)とレコーディングの願いが叶い"Another Soil" Tomoki meets Elvin"を'80年にリリースし転機を迎える。80年代になり古澤良治郎&リー・オスカー・バンド、今村祐司(per)との双頭バンド(この頃"Native Son", 渡辺香津美"キリンバンド"にも一時在籍)を経て'83年New Yorkへ。何と幸運な事にElvinとあの"Village Vanguard"に出演し帰国後も"Elvin Jones Japanese Jazz Machine"で'90年まで演奏する。その他、80年代は渡辺文男(ds)5、寺下誠(p)4、北海道バンド、ジョージ川口Big4等で活動。90年代は"Perhaps"高橋知己3、"Make Someone Happy"高橋知己4

featuring渡辺文男をリリースしツアーをする。
2000年になりかねてから一緒にプレイしたいと思っていた津村和彦(g)と"Nothing Like You"をリリースし新生高橋知己4をスタート。2015年、津村和彦亡くなるという悲しい出来事があったが生田さち子(p)で2018年まで継続。2000/2010年代はその他清水くるみ(p)とDUO、紙上理(b)7、そして大阪の巨匠、西山満(b)さん(2011年没)と知り合った事から関西方面にも数多くツアーするようになった。
2020年、コロナ禍の中、古希記念"Seven"をリリース。そして浜田均(vib)を迎えてのQuartetで"Work"をリリースし2022年2月まで活動。現在はメンバー未定のセッション、ElvinをTributeしたバンド、new北海道バンド、本多滋世3 "The Why"、山崎弘一(b)4、阿佐ヶ谷"MANHATTAN"日曜午後のセッションリーダー他多数のバンド、セッションで活動中。

竹内 直 (ts) (fl) (bcl)

1977、1986年にニューヨークに滞在。
Jazz Center of NewYorkに自己のバンドで出演。
帰国後、エルビン・ジョーンズ(ds)・ジャパニーズ・ジャズマシーンに参加。フレディ・ハバード(tp)と共演。
1991年、ブラジルに渡りリオデジャネイロでサンバやボサノバを吸収する。
2002年には山下洋輔ユニットの一員としてヨーロッパ・ツアーを敢行。
2008年、セネガルに滞在し、世界的打楽器オーケストラのドゥ・ドゥ・ンジャイ・ファミリーと親交を深める。
同年、天河神社にて奉納演奏。

2020年、映像作家タカザワカズヒトによる竹内直のドキュメンタリームービーが、コペンハーゲンジャズフィルムフェスティバル、他9つの国際的な映画祭でアワードを獲得。
リーダーアルバムとして最新作「バラード」を含む11枚をリリース。
現在、ジャズフェスティバル、野外コンサート、全国のライブハウスなどで演奏。
NHKセッションなどのFM番組にも、出演多数。
<http://takeuchinao.com/>

畠山 ゆき (pf)

北海道旭川市生まれ。
4歳より音楽を始めクラシックピアノとエレクトーンを学び、20代前半でジャズピアノに転向、故市川修氏、藤井貞泰氏に師事。全国の多くのミュージシャン達と共演する。伝統的なジャズを踏襲しつつも振り返らず前を向くスタイルで人に変容を促すピアニスト。関西を中心にライブハウス、バー、カフェ、ホテル、イベント等で演奏活動中。畠山ゆき ピアノ・ジャズスクール主宰/ジャズピアノ・ヴォーカル、その他の楽器、アンサンブル、イヤーレッスン等幅広く音楽を指導。
一方で作曲に定評があり、2012年では0歳児からの音楽教室のテーマソングに「ママ大好き」「かわいいいな」等の曲が好評を博し京都育児団体「ママ大好きプロジェクト」にオリジナルソングとして起用、「胎内記憶」の著書・池川明氏に推薦を受けテレビ等で使用される。
2014年、京都在住の映像作家の作品「MONK'S CIRCLE INSTITUTE」にオリジ

ナル曲を提供。映像×JAZZのコラボレーションにも力を入れる。2019年、東京在住タップダンサーyoshikoを招いてFacinating Rythm Quartet を結成しジャズ×タップダンスのライブなどを企画。2020年、プリュートナーの奇跡のピンテーゼピアノでレコーディング制作、ギタリスト中村俊彦氏を迎えてCD「SNOWY」を発表。プリュートナーピアノと過ごす日々でオリジナルのピアノ奏法を発見しメソッド「畠山奏法」を確立。
2021年10月、コロナ禍で業界低迷中もライブスポットRAGの有観客&同時配信LIVEで弾き語り+日本が誇るレジェンドギタリスト寺井豊氏をスペシャルゲストに迎えたライブを行い好評を博す。
2022年5月から、京都のラジオFMおとくに 第3水曜日の音楽番組【Radio Booze K(ラジオブーズケー)】にてジャズの曲等を紹介する音楽番組に 毎月定期出演中。合言葉は【ジャズ業界を元気に!第3水曜日はジャズの日】。

畠山 令 (B)

神戸出身。
18歳の時にエレクトリックベースを始め、その後甲陽音楽学院に入学し上山崎初美氏に師事。ベースという楽器の持つ可能性を体得する。ジャズの持つ即興性や音楽の広がりを感じ、20歳でアコースティックベースに転向し、パークリー音楽大学に奨学金を得て入学。在学中はR.Mahdi、J.Lockwood氏らに師事。また学生時代より現地アメリカの数々のライブハウスで演奏。2006年から2009年Rodney Whitakerに師事。
卒業後に帰国し自己のグループを中心に、「ジャズの伝統を大切にしながら、新しく個性のある音楽の創作」をモットーに活動している。

2017年には自身の作曲した曲"Two in One"がアメリカ最大の作曲コンテストInternational Songwriting Contestでファイナリストに選出される。2018年に自身初となる1stアルバム"Mosaic Structure"を発売。2021年に2nd アルバム"Crab Nebula"を発売。
国内のみならずフランス、ドイツ、ルーマニア、台湾等でも演奏。Taipei International Jazz Festival、Pinneberg Jazz Festival、Europa Fest、高槻ジャズストリート、金沢ジャズストリート、徳島ジャズストリート等数多くのジャズフェスティバルに出演。

石田 博嗣 (Ds)

1961年生まれ。
学生時代は京都大学系音楽部近辺で日夜ドラムの練習に励む
ライブスポットラグの前身である北山"ジャズスポットラグ"でエルビン・ジョーンズの演奏を体験。
この経験が、後の"コルトレーンナイト"の着想につながる。
その後木屋町にオープンしたライブスポットラグで1992年"コルトレーンナイト"を開催。年に一度、コルトレーンの命日におこなうイベントとして定例化。
並行して、ノーチャージの"深夜のジャムセッション"を提唱、長年

にわたりホストミュージシャンを務めてジャムセッションを介して後進の育成に力を注いだ。
主な共演者は、寺井豊(G)、高橋知己(Ts)、板橋文夫(P)、竹内直(Ts Bcl Fl)、登敬三(Ts)他
"コルトレーンナイト"は年に一度の企画として、2022年に30周年を迎えた。関西のLIVE Houseを中心に活躍中。
還暦を越え、スピード パワー ダイナミックさと、圧倒的なテクニックを併せ持ち、的確なグルーヴを生み出すドラマーとしてライブ活動を続けている。